

# 2014 年度大学院生の経済実態に関するアンケート調査

全国大学院生協議会

## 2014 年度大学院生の経済実態に関するアンケート調査

全国の大学院生の皆様

お忙しい中、本アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

### 1. 本アンケート調査の趣旨

本調査は、全国大学院生協議会（全院協）が、全国各大学の加盟院生協議会・自治会の協力の下に実施する、全国規模のアンケート調査です。本調査は、大学院生の経済実態を客観的に把握し、もって大学院生の研究及び生活諸条件の向上に資する目的で行なわれるものです。

全院協は 2004 年度以来毎年アンケート調査を行ない、調査結果を『報告書』としてまとめ、広く社会に公表しています。その結果は、全院協のウェブサイトでご覧いただけます。また、私たち全院協は、この調査結果をもとに、文部科学省、財務省、国会議員および主要政党に対して、学費値下げや奨学金政策の拡充などの要請を行ないました。こうした取り組みは、NHK や東京新聞をはじめとした各種マスメディアからも注目され、取材を受けております。

日本における大学院生の実態の全国的な調査は、全院協以外では行われておりません。より多くの方々に回答いただき、調査の精度を高めていくことが求められております。ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 2. 個人情報の保護

本アンケート調査で得られた情報は、以上に述べた目的以外に使用されることはありません。また、個人が特定される形で調査結果をまとめることはありません。回収された調査票は、調査結果がまとめられた段階で完全に廃棄されます。

### 3. 調査票への記入の仕方

- ・ 本調査票はこのページを含め、計 10 ページあります。
- ・ 設問はすべて該当番号の選択式となっています。該当する番号に○を記入してください。ただし、一部質問事項では〔 〕内に該当する番号を記入していただくよう指示があります。
- ・ 質問項目の右脇に「複数回答可」と、特に注意がある場合を除き、1 つだけ該当番号を選んで回答してください。
- ・ 自由記述欄を設けている質問項目については、何かあればできるだけ具体的に書いてください。

2014 年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX：042-577-5679

E-mail:zeninkyo.jimu@gmail.com

全院協ブログ URL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp/>

## I 基礎調査

### O. 所属大学院

所属大学院名……………【

#### 1. 基本属性

##### 1-1 性別

- ①男性 ②女性 ③回答の意思なし

##### 1-2 年齢

- ①20～24歳 ②25～29歳 ③30～34歳  
④35～39歳 ⑤40歳以上

##### 1-3 婚姻の別

- ①結婚していない ②結婚している ③事実婚

##### 1-4 子どもの有無

- ①いる ②いない

##### 1-5 学籍について

###### 1-5-1 学年

- ①M1 ②M2 ③OM(オーバーマスター)  
④D1 ⑤D2 ⑥D3 ⑦OD ⑧PD(特別研究員)  
⑨研究生・聴講生・科目等履修生  
⑩その他(受験準備中、ポストドクターなど)  
( )

###### 1-5-2 現在休学していますか。

- ①はい ②いいえ

##### 1-6 所属/受入大学・機関

- ①国立大学法人 ②公立 ③私立  
④その他の機関など

##### 1-7 学系

- ①人文科学系 ②社会科学系 ③理・工・農学系  
④医・歯・薬学系 ⑤専門職大学院(ビジネススクール、法科大学院、教職大学院など)

- ⑥その他( )

##### 1-8 あなたは留学生ですか。

- ①はい ②いいえ

##### 1-9 社会人院生について

###### 1-9-1 あなたは社会人院生ですか。

※なおここで社会人院生とは、本業の仕事を  
持っているか、本業の仕事を定年あるいは早期  
退職した方が該当します。

- ①はい ②いいえ

※1-9-1で「①はい」と答えた方にお聞きします。

###### 1-9-2 勤め先から経済支援(学費の負担など) を受けていますか。

- ①はい ②いいえ

##### 1-10 大学院進学の原因

- ①研究職を目指すため  
②研究職は目指さないが、より専門的な研究を行  
うため  
③専門職に就くための資格など勉強のため  
④就職活動に満足できなかったため  
⑤企業から派遣されたため  
⑥その他( )

##### 1-11 修了後の希望進路

- ①修士卒で就職(民間企業、公務員など)  
②修士卒で就職(教員、法曹など専門職)  
③博士卒で研究職(大学等のアカデミックポスト)  
④博士卒で企業就職 ⑤未定  
⑥その他( )

## 2. 収入・支出について

1ヶ月あたりの収入と支出について、おおよその平均額を教えてください

2-1 収入	2-2 支出
<b>2-1-1 収入総額(奨学金借入も含める)</b> ①6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上	<b>2-2-1 支出総額</b> ①6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上
<b>2-1-2 奨学金受給(借入・給付の総額)</b> ①6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上 ⑦受給していない	<b>2-2-2 書籍費</b> ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ④4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
<b>2-1-3 日本学術振興会特別研究員(学振)</b> ①DC1 ②DC2 ③PD ④RPD ⑤受給していない	<b>2-2-3 調査研究費</b> ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ④4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
<b>2-1-4 科研費・プロジェクト的な研究費補助</b> ①3万円未満 ②7万円未満 ③11万円未満 ④11万円以上 ⑤受給していない	<b>2-2-4 その他研究に関する自己負担</b> ※学会などに関わる年単位の費用も、1ヶ月あたりで計算してください ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ④4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
<b>2-1-5 アルバイト収入</b> ※社会人における正規職の収入は除く ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦働いていない	<b>2-1-8 非常勤講師収入(大学・専門学校)</b> ①5万円未満 ②8万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上 ⑦働いていない
<b>2-1-6 TA収入(TA=ティーチング・アシスタント)</b> ①1万円未満 ②3万円未満 ③5万円未満 ④9万円未満 ⑤12万円未満 ⑥12万円以上 ⑦働いていないもしくは制度がない	<b>2-1-9 親などからの仕送り・小遣い</b> ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦もらっていない
<b>2-1-7 RA収入(RA=リサーチ・アシスタント)</b> ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦働いていないもしくは制度がない	

### 3. 生活時間

1週間あたりのおおよその平均時間を教えてください。

<b>3-1 労働時間</b> 従事時間および準備時間の合計を記入してください。
<b>3-1-1 アルバイト</b> ①10時間未満 ②20時間未満 ③30時間未満 ④40時間未満 ⑤50時間未満 ⑥50時間未満 ⑦働いていない
<b>3-1-2 TA</b> ①5時間未満 ②10時間未満 ③15時間未満 ④20時間未満 ⑤20時間以上 ⑥働いていない(制度がない場合も含む)
<b>3-1-3 RA</b> ①5時間未満 ②10時間未満 ③15時間未満 ④20時間未満 ⑤20時間以上 ⑥働いていない(制度がない場合も含む)
<b>3-1-4 非常勤講師</b> ①5時間未満 ②10時間未満 ③15時間未満 ④20時間未満 ⑤20時間以上 ⑥働いていない
<b>3-1-5 研究関連雑務</b> ※賃金にならないもの(ただし自身の研究に関するものを除く)。例えば学会や研究会の事務など。 ①5時間未満 ②10時間未満 ③15時間未満 ④20時間未満 ⑤20時間以上 ⑥関与していない
<b>3-1-6 以上合計</b> ①10時間未満 ②20時間未満 ③30時間未満 ④40時間未満 ⑤50時間未満 ⑥50時間以上 ⑦0時間
<b>3-2 研究時間</b> ①10時間未満 ②20時間未満 ③30時間未満 ④40時間未満 ⑤50時間未満 ⑥50時間以上
<b>3-3 ゼミ・授業時間</b> ①5時間未満 ②10時間未満 ③15時間未満 ④20時間未満 ⑤20時間以上 ⑥参加していない

#### 4. 収入と支出の関係

##### 4-1 この1年間で支払っている、大学の学費はいくらですか。

- ①20万円未満 ②40万円未満 ③60万円未満 ④80万円未満 ⑤100万円未満 ⑥100万円以上

※実質的に授業料減免に相当する奨学金を受給している場合は、その額を引いた支払額。

※減免の可能性があり確定していない方は前年度の納入額をもとに、M1の方は(減免の可能性があってもそれは除いて)現時点での納入予定額を、それぞれ選択してください。

##### 4-2 今年度授業料の減免申請をしましたか。

- ①申請していない ②全額免除 ③50%以上の減額 ④50%未満の減額  
⑤申請したが認められなかった ⑥申請したが結果待ちのため不明

※以下は、[ ]内に該当する選択肢を記入してください。各項重複可。

記入例) 4-3-2 調査・研究費 [ 3, 5 ]

##### 4-3 授業料、調査・研究費、生活に関わる経費(授業料や研究費を除く生活に必要な支出)をどのようにまかなっていますか。**複数回答可**

4-3-1 授業料 [ ]

4-3-2 調査・研究費 [ ]

4-3-3 生活に関わる経費 [ ]

- ①親・親戚の所得 ②パートナーの所得 ③奨学金 ④TA・RA ⑤アルバイト  
⑥自らの預貯金 ⑦科研費・プロジェクト的な研究費補助  
⑧そもそも必要最低限の支出も賄っていない(学業の継続が困難)  
⑨その他 ( )

##### 4-4 労働の目的について以下で該当するものにお答えください。**複数回答可**

4-4-1 アルバイトの目的 [ ]

4-4-2 TA・RAの目的 [ ]

4-4-3 非常勤講師の目的 [ ]

- ①生活費あるいは学費(研究費を含む)を賄うため ②将来に備えた貯蓄のため  
③指導教員等に頼まれたから ④自らの研究・教育キャリアのため  
⑤働いていない ⑥その他 ( )

## II 各項目についてお聞きます。

### 5. 奨学金

5-1 現在の奨学金の受給状況を教えてください。①～③のいずれかのチェックボックスに  
✓を記入してください。

- ①現在奨学金を受けておらず、奨学金返済の必要もない[5-2 へ]  
②現在奨学金を受けている[5-3、5-4、5-5 へ]  
③現在は奨学金を受けていないが、過去に受けていた分の返済が未完了[5-3、5-4、5-5 へ]

※5-1 で①と回答した方にお聞きます。

5-2 なぜ奨学金を受けていないのですか。

- ①利用する必要があるため ②所得規定など申請資格を満たしていないため  
③返済に不安があるため ④申請したが、採用されなかったため  
⑤手続きが煩雑で申請に間に合わなかったため ⑥制度を知らなかったため  
⑦その他 ( )

※5-1 で②もしくは③と回答した方にお聞きます。

5-3 奨学金の種類。**複数回答可**

- ①日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金 ②民間の給付制  
③民間の貸与制 ④学内の給付制 ⑤学内の貸与制 ⑥国費留学生  
⑦私費留学生学習奨励費 ⑧その他 ( )

※5-1 で②もしくは③と回答した方にお聞きます。

5-4 返還に対する不安はありますか。

- ①かなりある ②多少ある ③あまりない ④ほとんどない

※5-1 で②もしくは③と回答した方にお聞きます。

5-5 貸与制奨学金の貸与総額を教えてください。そのうち日本学生支援機構奨学金の第一種、  
第二種それぞれの総借入額(高校・学部時代含む)も教えてください。

※[ ]内に該当する選択肢を記入してください。各項重複可。

記入例) 5-5-1 総貸与額 [ 6 ]

5-5-1 総貸与額[ ] 5-5-2 第一種[ ] 5-5-3 第二種[ ]

- ①借りていない ②100万円未満 ③200万円未満 ④300万円未満 ⑤400万円未満 ⑥500万  
円未満 ⑦600万円未満 ⑧700万円未満 ⑨800万円未満 ⑩900万円未満 ⑪1000万円未満  
⑫1000万円以上

【以下、全員ご回答ください。】

5-6 日本学生支援機構の個人情報情報機関利用(いわゆるブラックリスト化)を知っていますか。

また、知っている場合、奨学金を利用・申請する上で影響はありましたか。**複数回答可**

- ①知らない ②奨学金の借入れをあきらめた ③進学をあきらめた ④借入額を下げた  
⑤将来への不安が増加した ⑥民間の奨学金に変更した ⑦影響はない  
⑧その他 ( )

5-7 以下の制度についてご存知ですか。どうやって知りましたか。**複数回答可**

※〔 〕内に該当する選択肢を記入してください。各項重複化。

記入例) 5-7-1 返還猶予制度 [ 2 ]

5-7-1 返還猶予制度 [ ] 5-7-2 減額返還制度 [ ]

5-7-3 業績免除制度 [ ]

- ①知らない ②知人から ③機構の冊子「返還の手引き」から ④機構 HP から ⑤その他 ( )

## 6. 研究活動の実態

### 6-1 学会活動

6-1-1 昨年一年間の学会参加回数を教えてください。

- ①0回 ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回 ⑥5回以上

6-1-2 学会参加費への経済的支援(交通費、レジュメ印刷などへの補助)はありますか？

- ①大学による支援がある ②科学研究費(科研費)を利用している ③自分で賄うことになっている

6-2 成果主義・業績主義的な風潮(論文の量産など)からくる負担感を感じていますか。

- ①強く感じている ②多少感じている ③あまり感じていない ④ほとんど感じていない

6-3 日本学術振興会の特別研究員制度に過去一年間で応募しなかった方にききます。その理由はなんですか。**複数回答可**

- ①応募した ②そのような制度があることを知らなかったため ③採用されなかったため  
④書類作成が煩雑で時間がとられるため ⑤修士課程一年次に在籍中のため  
⑥その他 ( )





※8-2で①または②と答えた方にお聞きます。

8-2-2 具体的にどのような支援が行われていますか。あるいは、どのような支援があればよいと思いますか。

### 8-3 大学院の育児支援について

8-3-1 あなたにとって必要な育児支援は、大学院で十分に行われていますか。

①行われている ②行われていない ③わからない

※8-3で①または②と答えた方にお聞きます。

8-3-2 具体的にどのような支援が行われていますか。あるいは、どのような支援があればよいと思いますか。

【以下、修士課程在籍の方のみ回答ください。】

### 8-4 博士課程の進学について

8-4-1 修士過程修了後、博士課程への進学を考えていますか。

①進学を考えている ②進学は考えていない ③未定

※8-4-1で①と答えた方にお聞きます。

8-4-2 博士課程への進学を検討する上での懸念材料を教えてください。**複数回答可**

①経済上の不安 ②就職状況 ③研究の見通し ④特にない  
⑤その他 ( )

※8-4-1で②と答えた方にお聞きます。

8-4-3 博士課程への進学をしないと決めた理由を教えてください。**複数回答可**

①経済上の不安 ②就職状況 ③研究の見通し ④修士課程で満足した  
⑤その他 ( )

### Ⅲ 自由記述

#### Ⅲ-Ⅰ

現在あなたが直面している研究・生活上の問題や就職活動に関する問題、院生の経済状況に関するご意見、あるいは奨学金事業を含む教育行政へのご要望などを、自由に書いてください。直面している問題があれば、できるだけ具体的に書いてください。全院協では、今後はこれまであまり実態の把握が出来ていなかった専門職大学院やポストドクターについてもより具体的な実態を把握できるようアンケート項目など改善していきたいと考えています。頂いたご意見は来年度のアンケートに反映させていただきます。

#### Ⅲ-Ⅱ 最後に、本アンケートに関してご意見があれば書いてください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果につきましては、11月頃までに報告書としてまとめられます。

アンケート報告書はブログ(表紙参照のこと)にアップロードされる予定です。

2014 年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX : 042-577-5679

E-mail:zeninkyo.jimu@gmail.com

全院協ブログ URL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp/>